

平成28年9月定例記者会見要旨（平成28年8月24日開催）

1. カヌー競技の東京五輪事前合宿誘致について

事前合宿誘致に関するこれまでの取り組みですが、昨年6月の日本カヌー連盟定時社員総会に私自ら出席し、府中湖カヌー競技場を事前合宿の候補地としてアピールした。また9月に内閣府政務官が来県した際には副市長が、府中湖カヌー競技場において事前合宿の誘致に向けた施設等の説明を行い、絶好の練習場であり有力な事前合宿候補地として評価をいただいた。本年6月にはカナダ五輪委員会によるカヌー競技場の視察が行われ、私も府中湖の良さをお伝えし、高い評価を得たところである。また昨年度より準備を進めていた「東京2020事前キャンプガイド」への施設掲載手続きが完了し、リオ五輪の開催に併せ、8月5日にホームページが公開となり、府中湖カヌー競技場の施設情報が世界各国に発信されたところである。また、8月7日には事前合宿の誘致に向けた取り組みとして横断幕を設置した。

今後、本市においても大使館への要望を検討するなどの取り組みを展開するとともに、事前合宿だけでなく東京五輪の後に開催が予定されている高校総体も見据えた施設の整備についても県と協議しながら進めたい。またパラカヌー競技の施設整備のためにスロープ等の整備も検討している。

事前合宿の誘致はカヌー競技の普及や地元競技選手の競技力向上、さらには市民のスポーツへの関心を高め、本市の活性化やにぎわいの創出も見込まれることから今後も誘致実現に向け、県や関係団体と共に取り組みを進めたい。